

Mokutaikyo 木耐協 マンスリーレポート

2019.9
vol.
249

特集

9月は防災月間

お客様に伝えよう そなえの大切さ



大広間

改修工事の様子

今号の表紙

群馬県前橋市、県庁近くにある「臨江閣」。1884年に迎賓館として造られ、昨年、国指定の重要文化財になりました。1910年築の別館は、2016年3月から1年半の大改修を実施。特に西洋間やその上階に位置する180畳の大広間は、耐震ボードや金具を設置するなどの耐震補強が行われました。現在は一般公開の他、有料貸出され、地域住民によるイベント等の活用が進んでいます。

写真提供:前橋市

前橋市の臨江閣紹介ページ



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



用語解説

●被災者生活再建支援金
災害により居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対して支給される支援金。最高300万円。申請には「り災証明書」が必要。

●住宅の被害認定

自然災害で被災した住宅の「被害の程度（全壊、半壊等）」を認定。市町村により実施され、「り災証明書」が交付される。応急危険度判定とは異なる調査。

●応急危険度判定

余震などによる二次災害を防止するため、危険度に応じて緑・黄・赤の用紙を住宅に貼付する。応急危険度判定士（民間の建築士含む）が実施する。

公的／共助による支援だけでは住宅再建費用は大幅に不足



※内閣府:住宅・生活再建にはこんなにお金がかかる
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/hokenkyousai/hiyou.html>

今、取り組みたい4つの備え

1 家を安全な場所に!

最優先で行うべきことは、震災後も自宅で住み続けられるかどうかを確認する耐震診断。必要に応じて耐震補強工事や建て替え・住み替えを検討しましょう。

2 家族会議で決めよう!

大規模災害が発生すると、電話はつながりにくくなり、家族の安否確認が難しくなります。災害時の連絡手段や集合場所について家族で話し合っておきましょう。

3 地震保険は経済的な備え!

経済的な備えとなるのが地震保険は、被災後の当面の生活を支えてくれます。火災保険とセットで契約が必要となり、保険金額は火災保険の50%が上限です。

4 備蓄品を備えよう!

災害後、電気・ガス・水道といったライフラインが復旧するまで時間がかかります。少なくとも3日間は家族が生活できるだけの水やトイレ、食料などを備えましょう。

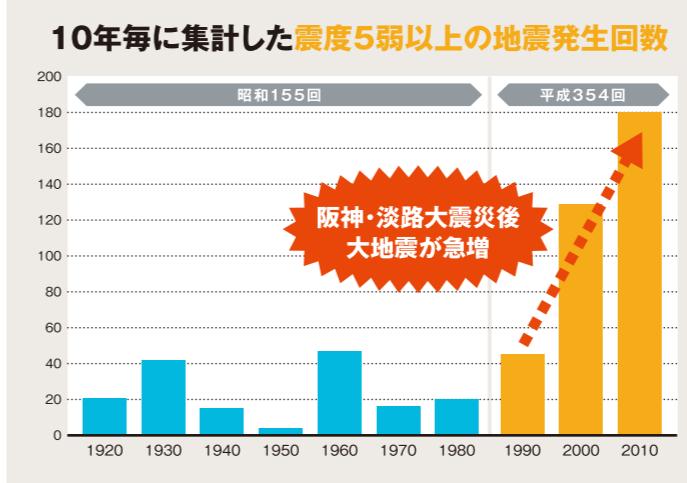
大切なお客様に備えの大切さを伝え、できることから災害対策を勧めて参りましょう!

特集 9月は防災月間

お客様に伝えようそなえの大切さ

阪神・淡路大震災以後 大地震の発生回数が激増

防災月間の9月を迎えるに当たり、お客様に伝えるべき大地震への備えの重要性や必要性を特集します。左の図は1995年に発生した阪神・淡路大震災以降、大地震の発生回数が激増しています。全世界で発生するマグニチュード6以上の地震のうち、2割は日本で発生しており、いつどこで大地震が起きてもおかしくない状況と言えます。



震度7を記録した大地震による建物被害

発生年	名称	マグニチュード	建物被害
1995年	阪神・淡路大震災	M7.3	全壊···104,906棟 半壊···144,274棟 一部損壊···7,132棟
2004年	新潟県中越地震	M6.8	全壊···3,175棟 半壊···13,810棟
2011年	東日本大震災	M9.0	全壊···121,783棟 半壊···280,965棟 一部損壊···745,162棟
2016年	熊本地震	M7.3	全壊···8,668棟 半壊···34,720棟 一部損壊···162,562棟

半壊でも修復工事は大規模

大地震による建物被害を表にまとめましたが、改めてその被害の規模が驚かされます。「半壊」といつても、仮住まいを伴う大規模な修復工事が必要なケースもあり、経済的・精神的負担は少なくありません。

全壊

最も深刻な被害で、家屋を補修しても住むことが困難な状態。損壊を被った延べ床面積70%又は、主要な構成要素の経済的損害割合が50%以上に達したもの。



半壊

損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに住める状態。損壊を被った床面積が20%以上70%未満、主要な構成要素の経済的損害割合が20%以上50%未満のもの。

①まずは調査建物の基本的な概要を確認

お客様の氏名・住所、連絡方法、敷地内に駐車ができるか（または、近くにコインパーキングがあるか）などの基本情報に合わせて、**調査建物の住所、竣工年月、構造、階数、用途種別、リフォーム履歴**などの建物の基本的な概要を確認します。

概要の確認には、「**確認用紙**」を事前に作っておくといいでしょう。そうすることで、依頼者別のファイル作成も容易にできますし、何よりも確認漏れを防ぐことができます。

「確認用紙」のサンプル▶

ポイント

建物の構造への質問は、素人のお客様には判断しにくい内容でもあるので、できるかぎり分かりやすい質問を心がける。現地に赴いてみて「診断不可の建物であった…」と、ならないためにも重要

②耐震診断の調査とは?を分かりやすく

次に、耐震診断でどんな事を実施するのかを分かりやすく説明しましょう。

第2回、第3回で紹介したように建物の耐震性能は「①壁の強さ(量)」、「②壁の配置」、「③劣化度」の3つのポイントで決まるため、耐震診断はそれらを確認する調査であることを簡単に説明します。

3つのポイントをチェックするために、家全体の間取りの確認、屋内外、天井裏や床下の観察などが必要になってきます。これら

の確認に当たって、天井裏へは押入れ内の点検口から、床下は畳を外して（あるいは床下収納庫があればそこから）**進入することを伝えておく**必要があります。調査に当日に、いきなり天井裏や床下に入るとお伝えすると、驚かれたり、不審に思われたり、場合によっては診断そのものを拒否されることにもなりかねません。また事前にお伝えすることで、調査経路にある荷物の移動などの準備をお願いすることもできます。

③お客様が気になる耐震診断にかかる時間と費用

お客様が気にされる内容として「**調査にかかる時間と費用**」があります。調査は概ね**2~3時間**といったところが一般的ですが、調査費用は各社によって設定が違います。いずれにしてもお客様へは事前にしつかり説明をし、了解を得ておく必要があります。また**費用のお支払い時期**（調査日なのか結果報告日なのか等）も明確にしておく必要があります。

④診断結果の報告について

実施した耐震診断の調査結果の報告までに、どれくらいの日数（期間）がかかるかも伝えておくことが大切です。

結果報告に際しては、現状の結果（評点）のみの報告なのか、補強が必要な場合には補強提案（設計）や補強工事費用の見積書を添付するのか、**補強提案や見積を添付する場合にはその費用をどうするか（有償・無償、具体的な金額）等を、事前に説明し確認をしておきます**。お客様が充分納得することも耐震診断を実施する上で非常に重要なステップです。

超実践! 耐震診断 マニュアル 第4回

お客様の不安を取り除く 事前準備と耐震診断前の説明ポイント

ここからは具体的な耐震診断の解説になりますが、ただ建物を詳しく調査すれば良いということではなく、お客様に**安心して受診いただけるような土台づくり**も

必要です。

今回は、お客様の不安を取り除くための「耐震診断前の説明」のポイントを解説します。

1 分かりやすい説明でお客様の不安を取り除く

耐震診断を依頼されるお客様は、かつて自社サービスを利用されたOB客、新規の飛び込み客、あるいはチラシやホームページを通じた問い合わせ客など様々です。いずれのお客様にも共通しているのは、初めての耐震診断であるということです。お客様は、自宅を隅々まで見られるということに対して抵抗感があり、不安もある

はずです。相手が友人や親戚だとしてもそうなのですから、まして初めての業者が来るということであれば、その気持ちはさらに大きくなっているに違いありません。

耐震診断に伺う日時を事前に電話などで調整する際に、安心して調査を受けていただけるよう、**いかに分かりやすい説明をすることがポイント**になってきます。

お客様にとっては
初めての耐震診断
不安感があるのは当然
丁寧な説明が
ポイントじゃな

ポイント

時間に余裕がある場合は、耐震診断実施前に現地周辺の下見をしておくことがオススメ。下見ができるれば、当日の作業がスムーズに開始できる



2 どんな結果であっても、耐震補強工事を強要してはいけない

「耐震」に携わる私たちの使命は、一棟でも多くの建物が、大地震で倒壊しない安全・安心な住まいになるよう「耐震改修工事」を行うことになります。

しかしながら、いくらお客様のためであるとはいえ、**補強工事を強要するようなことは絶対あってなりません**。このことを常に意識しておくとともに、お客様へもその意思を伝える必要があります。いたずらに**不安や不信感を与えることのないよう留意**

することが重要なポイントです。

耐震診断の結果報告や、補強提案の際には、このことを念頭におき誠意を持って、分かりやすく、丁寧に説明をしていきましょう。

また、**耐震診断対象外となる建物もあります**。現地に行ってみたら「診断不可の建物だった…」とならないように、次ページで紹介する事前準備をしっかりしましょう。

■耐震診断が実施できない建物の例

平面的混構造の例



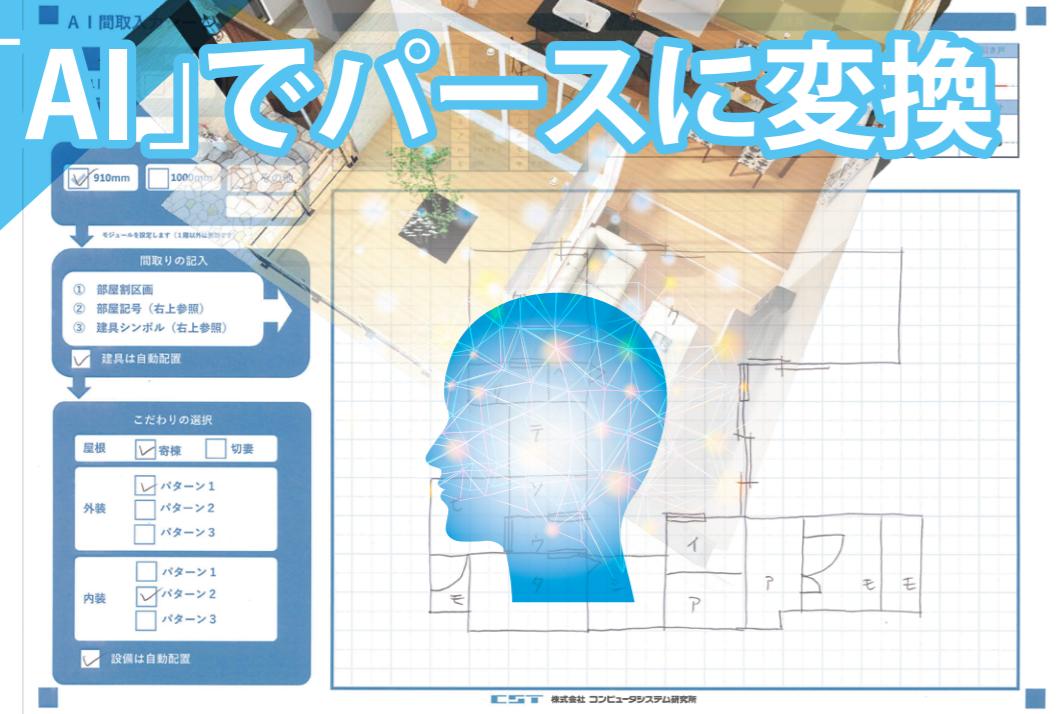
スキップフロアの例



(一財)日本建築防災協会発行『2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法』の中では、上図に例示している「平面的混構造(1つのフロアに木造とそれ以外の構造が混在している)」や「スキップフロアがある建物」などは耐震診断対象外となる。この他にプレハブ工法や丸太組構法なども診断対象外として示されている

特許出願済

手書き図を 「AI」でパースに変換



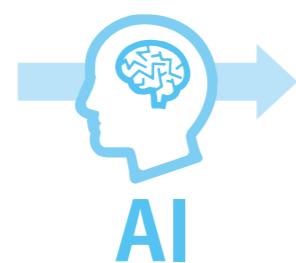
CAD未経験でもパースが作れる!

ALTA AI Sketch
Build Visor

「ALTA AI Sketch」は、手書きの間取り図をAIで3Dデータに自動変換する住宅プレゼンシステムです。CAD未経験の方でもパースや平・立面図、プレゼンシート等の提案資料を簡単に作成することができ、お施主様を待たせないスピーディなプラン提案を実現します。



手書きの間取り図



AI



自動で3D化

お問い合わせ先

株式会社 コンピュータシステム研究所
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町6-1 www.cstnet.co.jp

TEL 03-3350-4686 木耐協担当:宍戸
▶ 全国に配置した拠点より対応いたします

地域防災
ステーション

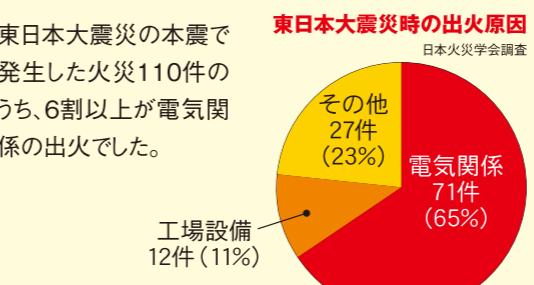
役立つ防災豆知識 Vol. 11

▶ 防災は日頃の備えから! ▶ 知識を身に付け防災力をアップ! ▶ お客様にもご案内しましょう

今月のテーマ

地震による 電気火災を防ごう

地 震に関連して発生する災害のひとつが火災です。主な出火原因にはガス漏れや石油ストーブなどがありますが、最も多いのは「電気(通電)火災」です。大規模震災時は通信や交通も混乱しているため、消火活動が困難になります。減災の面からも対策を進めましょう。



電気火災の例1

本棚が倒れて紙が電気ストーブ周辺に散乱 → 通電してストーブ作動 → 紙類に着火

電気火災の例2

家具が転倒し電気コードを損傷 → 通電してコードがショート → 付近の物に着火

対策1

地震後の避難時に、ブレーカーを切ってから外に出る。



対策2 「感震ブレーカー」を取り付ける。

感震ブレーカーは、地震を検知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。取り付け方や機能によって分電盤タイプ・コンセントタイプ・簡易タイプなどがあり、自治体によっては補助金等で取り付けを推奨している所もあります。



News & Topics

リ推協「住宅リフォームに関する支援制度」 令和元年度版にリニューアル

(一社)住宅リフォーム推進協議会は、リフォーム補助制度や融資制度が検索できる「地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイト」令和元年度版を公開しました。耐震やバリアフリー、省エネ等の自治体の支援制度を検索することができます。活動エリアを検索して、補助制度をお客様に伝えられるようにしましょう!

(一社)住宅リフォーム推進協議会
<http://www.j-reform.com/reform-support/>

地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイト（令和元年度版）

地方公共団体が実施する住宅リフォーム支援制度を検索できます。
最新の情報については各地方公共団体にお問い合わせください。

お住まいの市区町村から探す (地図をクリック)

都道府県をクリックすると市区町村ごとの支援制度が検索できます。

※お選択の場合、すべての条件が抽出されます。

支援分類 ①軽量化 ②バリアフリー化
③省エネルギー化 ④環境対策
⑤耐震対策 ⑥省エネ
⑦その他

支援方法 ①補助 ②融資
③料金補給 ④専門家等派遣
⑤その他

都道府県 □ 都道府県 - □ 検索



事務局通信

●編集後記●

皆さんに一目惚れして買いたくなるような物と出会った事はありますか?今年4月に発売されたトヨタのRAV4に一目惚れしてしまいました。無骨なエクステリアのかっこよさがたまりません。様々なホームページを見て情報収集ばかりしていますが、今度時間をとって試乗してこようと思います。(伊藤)

 「リフォームで生活向上プロジェクト」を自社イベントのPRに!

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会が主催、国土交通省・経済産業省が後援して行っている本プロジェクト。皆様が行われている消費者向けイベントをA4の登録用紙で申請するだけで、右のロゴマークや様々な冊子・チラシ等のツールが使えます。また、プロジェクトホームページにイベントが掲載され、PRにつながります。

ご利用の組合員様からは、「ロゴマークを使って、お客様の信頼度が上がった!」「イベントで配れるツールが役立った!」等のお声を頂いています。ぜひご登録いただき、イベントの盛り上げにご活用ください。(詳細は、組合員専用ページをご確認ください。)

 耐震診断結果報告書の解説冊子 カラー版も登場！

先月のマンスリーレポートでご案内した、耐震診断結果報告書を解説した冊子『耐震診断でわかることと耐震補強の考え方』のカラー版が完成しました。冊子データはモノクロ版とカラー版とともに組合員専用ページからダウンロード可能です。ぜひご活用ください。



発行・国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

・発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子

所 在 ● 東京都千代田区麹町2-12-1 グランアクセス 麹町7F tel 03-6261-2040 fax 03-6261-2041



	開催日	エリア	イベント名	時間	会場
9月	10(火)	大阪	TERS×JSHI×木耐協協業セミナー	13:30～17:00	CIVI新大阪研修センター
	13(金)	愛知	耐震技術認定者講習会	10:00～17:40	ウインクあいち
	19(木)	東京	リフォーム基本研修会	10:00～12:00	木耐協半蔵門事務所
		東京	導入研修会	13:00～16:30	木耐協半蔵門事務所
	25(水)	東京	TERS×JSHI×木耐協協業セミナー	13:30～17:00	アットビジネスセンター東京駅
		福岡	TERS×JSHI×木耐協協業セミナー	13:30～17:00	リファレンス大博多ビル
		埼玉	耐震事業現地研修会	10:00～17:00	木耐協埼玉研修所
10月	9(水)	東京	倫理向上委員会	15:00～17:00	木耐協半蔵門事務所
		東京	技術向上委員会	13:30～16:30	木耐協半蔵門事務所
	11(金)	東京	耐震診断・補強設計研修会	13:00～17:00	木耐協半蔵門事務所
	17(木)	大阪	リフォーム基本研修会	10:00～12:00	NLCセントラルビル
		大阪	導入研修会	13:00～16:30	NLCセントラルビル
	24(木)	東京	理事会	13:30～17:00	木耐協半蔵門事務所
11月	12(火)	大阪	耐震診断・補強設計研修会	13:00～17:00	NLCセントラルビル
	15(金)	埼玉	耐震事業現地研修会	10:00～17:00	木耐協埼玉研修所
	21(木)	東京	リフォーム基本研修会	10:00～12:00	木耐協半蔵門事務所
		東京	導入研修会	13:00～16:30	木耐協半蔵門事務所
	22(金)	大阪	耐震技術認定者講習会	10:00～17:40	新大阪丸ビル別館
	27(水)	東京	耐震技術認定者講習会	10:00～17:40	損保会館

※諸般の事情により、イベントは中止となる場合がございますので、予めご了承ください。※お申込み多数の場合、やむを得ず参加をお断りする場合がございます。お早めにお申込みください。※各イベントの概要や詳細については、お気軽に木耐協事務局へお問い合わせください。



▲リフォームデザイン事例



▲事務所兼セミナー会場



▲隔月で開催されている
セミナーのチラシ



▲代表取締役
高橋 仁様



組合員さん
～事務局員がおしゃまします～
こんにちは！

有限会社 創仁ホーム様

(埼玉県草加市)

2010年に木耐協へ加盟され、「耐震・防災」をテーマに貴重な地域密着型の活動をされる創仁ホームの高橋社長に、地域住民の方々との「お付き合いの「」や田頃の活動について伺いました。

高橋社長の信念は 迅速かつ丁寧な対応

創仁ホーム様は1999年に創業され、今年でちょうど20年目。住宅の設計から施工まで「、」で対応されています。

地域密着にこだわり、地元のお客様のお困りごとに、「迅速対応」を徹底されると共に、「暮らし・生活へのお悩みにもじっくり寄り添つてお応えする「親切対応」を心がけて、いらっしゃいます。

地域の防災力を高める 「地域防災ステーション」 推奨パッケージを導入

木耐協の「地域防災ステーション」推奨パッケージを導入され、地域防災ステーションとしての活動もいち早くスタート。安心・安全な暮らしに役立つ耐震・防災に関するテーマに加えて、収納や資産活用等、幅広いテーマのセミナー

を隔月で開催されています。

町内会の役員に 防災セミナーを告知

防災セミナーを開催する時は、町内会の防災部役員の方々にアナウンス。参加された方は、高橋社長の活動・想いに賛同されます。高橋社長自身も、町内会が主催する防災セミナー・防災訓練に積極的に参加。現在は、「私の町の防災ステーション」として町内へ自助・共助の大切さを広める防災活動の中心人物にもなられましたそうです。

高橋社長の実直な活動と地域に貢献したいという想いを、全国の組合員様にお伝えしたく、今回お時間をいただきました。高橋社長と地域の皆様が一丸となった「安全で強い町づくり」が、益々進む事を祈念しております。(事務局/家富)

